

代表的な岐阜県の水稻栽培こよみ(品種:ひだほまれ(飛騨地域))

『ひだほまれ』の品種特性

- (1)岐阜県が育成した極大粒で心白の発現が良い酒造好適米品種である。
- (2)立毛中に胴割れしやすいので早刈りする。穂発芽しやすい。

『土づくりのポイント』

- (1)秋耕起と排水の励行。
- (2)稻わら全量還元又は堆肥等有機質の適度な投入。
- (3)農力アップ(80kg)施肥。
- (4)深耕(目標18cm)

月別	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11~3月	
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	土づくり期間	
生育過程			播種	育苗期	植え付け	活着期		分け有効期	分け最高期		形成幼穗期		出穂期		登熟期		収穫期						
作業名	①種子消毒	②耕起	播種	③基肥施用	④代かき	田植え・⑤箱施薬散布	⑥雑草防除	⑦早期中干し	⑨中間追肥	⑩病害虫防除(1)	⑪病害虫防除(2)	畔除草(カメムシ対策)	⑫穂肥散布(2)	出穂	⑬病害虫防除(3)		⑭落水	⑮収穫				⑯土づくり資材の施用	⑰秋冬耕起の実施
水管理								中干し	中干し	⑧間断灌水	中干し												

作業名	内容(目的)	使用資材名	10a当たり施用量
①種子消毒	種子伝染性病害防除のための粋消毒	モミガートC·DF	200倍に種子浸漬(24時間)
	イネシンガレセンチュウ防除	スミチオン乳剤	1000倍に種子浸漬(24時間)
②耕起	代かきに向けての碎土	—	
③基肥散布	(普通肥料)初中期生育に必要な肥料散布	塩加燐安1号	30~35kg
④代かき	漏水防止と田植えのための碎土・均平	—	
⑤箱施薬散布	いもち病や害虫防除のために、箱施薬剤散布	Dr.オリセパティート粒剤 又はテジタルミネット箱粒剤 又はブーンレバード箱粒剤	50g/箱
⑥雑草防除	体系処理①(初期剤+初中期一発)	サキトリEW+ティオーレ1キロ粒剤 又はフロアブル又はジャンボ	500ml+1kg又は500ml又は400g
	体系処理①(初期剤+初中期一発)	農将軍FL又は先陣ジャンボ 又はクリアホープフロアブル+ティオーレ1キロ粒剤 又はフロアブル又はジャンボ	500ml又は200g+1kg又は500ml又は400g
⑦早期中干し・中干し	肥料の効かせ方の調節と根への空気(酸素)補給	—	
⑧間断灌水	根の生育に必要な空気(酸素)と水を補給	—	

作業名	内容(目的)	使用資材名	10a当たり施用量
⑨中間追肥	茎葉硬化による倒伏防止と粋の登熟を向上	けい酸カリプレミア34	30kg
⑩病害虫防除(1)	いもち病防除、登熟歩合向上	フジワン粒剤	4kg
⑪病害虫防除(2)	紋枯病防除	リンバー粒剤	4kg
⑫穂肥散布	粋の登熟充実のため追肥(一発肥料使用時は不要)	マップ484	10~15kg又は10kg
⑬病害虫防除(3)	ツマグロコバイ、ウンカ類、カメシ類等の防除	スタークル粒剤又は豆つぶ	3kg又は250g
⑭落水	粋の登熟を促し、収穫の作業性を良くするため収穫1週間に前に落水	—	
⑮収穫	品質低下を防ぐため、適期収穫の実施	—	
⑯土づくり資材	稲の生育のための土づくり	農力アップ	80kg
⑰秋冬耕起	有機物、土づくり資材のすき込み、作土深確保のための田起し	—	